

ファッション/カルチャー/アート分野のXRコンテンツを募ったグローバルアワード

## NEWVIEW AWARDS 2022

# 14ヶ国155作品から選ばれた受賞作品を発表

グランプリは、現実環境と記憶の脱構築に挑んだ「my room / my sound」と「SEMI MEMORY」の2作品受賞



株式会社パルコ（本部：東京都渋谷区）、株式会社ロフトワーク（東京都渋谷区）、株式会社Psychic VR Lab（東京都新宿区）による共同プロジェクト「NEWVIEW（ニュービュー）」は、XRコンテンツアワード「[NEWVIEW AWARDS 2022](#)」の受賞作品を発表しました。

2018年に第1弾をスタート。誰もが3次元空間の表現を手にする近未来を見据え、XRの新たな表現と体験の世界を牽引し得る次世代クリエイターを発掘し、次なるステップへと進むきっかけをもたらすべく立ち上げた本アワード。5年目、第5弾となる今回は「Create a Melting Reality」（溶け合うリアリティを創造せよ。）を掲げ、2022年8月8日から10月31日までの期間、世界中から作品を公募をしました。

世界14ヶ国155作品（AR：54作品、VR：92作品、XR（ARとVRを併用）：9作品）の応募があり、審査員長の宇川直宏氏、Kizuna AI Inc.、Shinichi Osawa (MONDO GROSSO) 氏、Lu Yang氏（中国）、yurinasia (ユリナジア)氏、北川一成氏、清水幹太氏 / バーチャルヒューマンのルカ氏、小林大介氏、Nick den Boer氏（カナダ）ら審査員による最終審査会を経て、グランプリをはじめとする各種受賞作が決定しました。

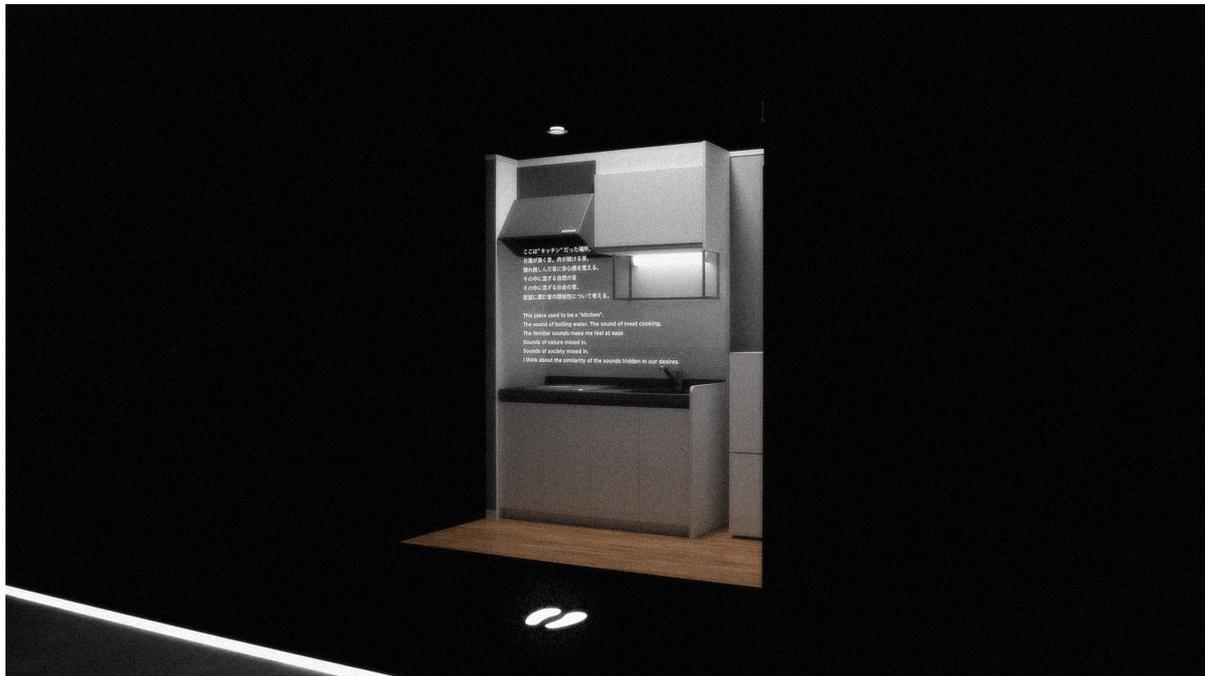
グランプリに相当するGRAND Prizeは、過去に住んでいた空間を分割し、各空間とそこにまつわる断片的な音から作者の「個人的で曖昧な記憶」を体験できる「my room / my sound」と、さまざまな場所の風景と記憶を合成し、どこにもないがどこかに存在しているかのようなテーマパークへ誘う「SEMI MEMORY」の2作品が受賞しました。グランプリに相当する作品が2つ選出されたのは初となります。

GRAND Prize受賞者には、新作の制作支援金として最大\$10,000 USDを提供、NEWVIEWを象徴するXRアーティストとして、XRシーンでの飛躍をバックアップします。SUPER DOMMUNEでの番組化、2023年のNEWVIEW FESTでの作品披露ほか、NEWVIEWが2023年度にグローバルに展開するさまざまなプロジェクトやイベントで活動、露出の機会を提供予定です。

お問い合わせ: NEWVIEW AWARDS 2022 事務局（担当 皆川）  
info@newview.design

## GRAND Prize 2作品

新作の制作支援金として最大\$10,000 USDを提供、NEWVIEWを象徴するXRアーティストとして、XRシーンでの飛躍をバックアップします。SUPER DOMMUNEでの番組化、2023年のNEWVIEW FESTでの作品披露ほか、NEWVIEWが2023年度にグローバルに展開するさまざまなプロジェクトやイベントで活動、露出の機会を提供予定です。



作品名：「my room / my sound」

作者：IEEIR (アーティストコレクティブ | JAPAN)

以前住んでいた空間を分割し、各空間とそこにまつわる断片的な音から作者の「記憶」を体験できる作品。

URL：<https://newview.design/works/my-room-my-sound/>



作品名：「SEMI MEMORY」

作者：Adrian Steckeweh | Omega.C (建築家、CG/XR クリエーター | GERMANY, JAPAN)

自分の記憶・経験・知覚に基づいて、郷愁を味わう。さまざまな場所の風景と記憶の合成によるテーマパーク。

URL：<https://newview.design/works/semi-memory/>

## 既存の表現やカルチャーを更新しうる作品が選出された

### COLLABORATION Prize

#### 2023年に、プライズオーナーとのコラボレーションを展開予定

NEWVIEW AWARDSはGRAND Prizeのほか、8つのCOLLABORATION Prizeを用意しており、各プライズの審査員が受賞作品を選出しました。

COLLABORATION Prizeでは、受賞特典として、プライズオーナーとのコラボレーションを通じて、XRによって既存のカルチャーの新たな可能性を切り開く挑戦の機会が与えられます。

受賞者の今後の作品にご期待ください。

各COLLABORATION Prizeの受賞作品は以下になります。

#### ULTRA STAGE Prize 2作品

ULTRA STAGE Prizeはキズナアイの声を元に開発された歌唱特化型AIキャラクター「#kzn」（愛称 キズナちゃん）のPrize。受賞アーティストは、2023年2月に予定する「#kzn」のファーストライブのステージ空間演出に参加できます。また、制作支援金として最大\$5,000 USDを提供します。

##### 作品名：「AIAR Gallery 02」

作者：Rory Scott (rksxo) (クリエイティブ テクノロジスト/  
アーティスト | US)

AIが生成したオーディオとビジュアルを展示する実験的なアートギャラリー。

URL：<https://newview.design/works/aiar-gallery-02/>

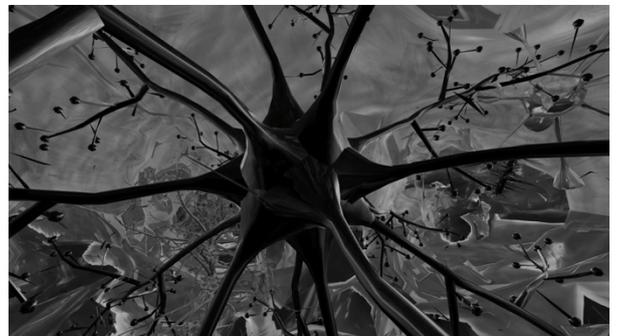


##### 作品名：「Glyph's Abyss」

作者：Ardak Mukanova (デザイナー | KAZAKHSTAN)

死にゆく生命の細胞を表現。体験者は細胞に歩いて近づき、彼らを動かす最後の光となる。

URL：<https://newview.design/works/glyphs-abyss/>



#### ULTRA SO SESSION Prize 1作品

ULTRA SO SESSION Prizeは次世代の楽曲制作のアプローチを探求する音楽家、作曲家、DJ、プロデューサーShinichi Osawa (MONDO GROSSO) が、新たなセッションパートナーとしてXRアーティストを選出するPrizeです。2023年に共に新たな作品制作を行いリリースを予定しています。また、制作支援金として最大\$5,000 USDを提供します。

作品名：「Draw & drag future instruments」

作者：キンミライガッキ現代支部 (アーティスト | JAPAN)

空間に描いたシンボルを認識して、対応した「キンミライガッキ」を召喚でき、演奏できるAR楽器。

URL：<https://newview.design/works/draw-drag-future-instruments/>



## ULTRA TOUR Prize 1作品

ULTRA TOUR Prizeは、「RPGレストラン」などで話題になった、複数人で同時に参加できるXRを用いた超初体験なツアープログラム「ULTRA TOUR by STYLY」のコンテンツ制作クリエイターを選出するPrizeです。世界主要な美術機関や国際アート公募展に作品選出される、著名な学者、実験的なクリエイター、マルチメディアアーティストのLu Yangが審査を行うほか、受賞アーティストとのコンテンツ制作にメンターとして協力します。また、制作支援金として最大\$5,000 USDを提供します。

### 作品名：「Species」

作者：Tomoro Kinoshita（ビジュアルアーティスト | JAPAN）

この施設では多種多様な生物を飼育、研究している。鮮やかな色彩と生物が創り出す美しいVR空間。

URL：<https://newview.design/works/species/>



## ULTRA MEDIA Prize 1作品

ULTRA MEDIA Prizeは、カルチャーマガジンEYESCREAMが提供するPrizeです。審査員は世界から注目を浴びるダンサー、コレオグラファーのyurinasia (ユリナジア)が務め、選出アーティストは、WEB記事にてフィーチャー。yurinasiaとのコラボレーション作品制作を予定しています。また、制作支援金として最大\$5,000 USDを提供します。

### 作品名：「SEMI MEMORY」

作者：Adrian Steckeweh | Omega.C（建築家、CG/XRクリエイター | GERMANY, JAPAN）

自分の記憶・経験・知覚に基づいて、郷愁を味わう。さまざまな場所の風景と記憶の合成によるテーマパーク。

URL：<https://newview.design/works/semi-memory/>



## ULTRA GRAPHIC Prize 1作品

ULTRA GRAPHIC Prizeは、パルコが提案するあたらしいアートマーケット「PARCO PRINT CENTER」が、リアルとデジタルが掛け合わされた新たなアートプロダクト創造を共にするクリエイターを選出するPRIZEです。受賞クリエイターと最適なアウトプット方法を協議の上、PARCO PRINT CENTERで販売するプロダクトを制作します。また、制作支援金として最大\$5,000 USDを提供します。

### 作品名：「face」

作者：大西晃生（アーティスト | JAPAN）

画像、写真、立体造形、絵画...イメージがマテリアルをシームレスに移動した果てを表現した作品。

URL：<https://newview.design/works/face/>



## ULTRA INNOVATION Prize 1作品

ULTRA INNOVATION PRIZEでは、技術分野の司令塔としてあらゆるアイデアを形にする「BASSDRUM」が、アートとテクノロジーを融合した新たな体験を共に創るクリエイターを選出します。

受賞クリエイターには、BASSDRUMがテクニカルディレクションを手がける展示会のアート制作権を進呈します。また、支援金として最大\$5,000 USDを提供します。

### 作品名：「In My Brain」

作者：めーぶる（テクニカルアーティスト | JAPAN）

同じ世界でも感情によって見え方が変わる。そんな脳内のキャンバスを視覚化したAR作品。

URL：<https://newview.design/works/in-my-brain/>



## ULTRA CULTURE Prize 1作品

ULTRA CULTURE Prizeは、創業から先端のカルチャー発信を通じたインキュベートが続けるパルコが、XRの新しい体験創造実験を共に行うアーティストを選出するPRIZEです。受賞クリエイターが“やってみたい”アイデアをベースにパルコとコラボワークを制作し、作品をパルコのイベントとしてお披露目する機会を提供します。また、制作支援金として最大\$5,000 USDを提供します。

### 作品名：「SEMI MEMORY」

作者：Adrian Steckeweh | Omega.C（建築家、CG/XRクリエイター | GERMANY, JAPAN）

自分の記憶・経験・知覚に基づいて、郷愁を味わう。さまざまな場所の風景と記憶の合成によるテーマパーク。

URL：<https://newview.design/works/semi-memory/>



## ULTRA IDEA Prize 1作品

新作の作品制作支援金として\$ 2,000 USDが与えられるほか、より深くXRの表現と技術を学ぶ「NEWVIEW SCHOOL」2023年度の受講権利が与えられます。

### 作品名：「DrosTravel」

作者：Akira Tanaka（インタラクティブエンジニア | JAPAN）

街頭テレビをモチーフに、ドロステ（フレームの中で同じイメージが再帰的に繰り返されていく様）の渦に巻き込まれていくAR。

URL：<https://newview.design/works/drostravel/>



## NEWVIEW AWARDS 2022 について

3次元空間での新たなクリエイティブ表現と体験のデザインを開拓するプロジェクト/コミュニティ「NEWVIEW」が主催する、ファッション/カルチャー/アート分野のXR(VR/AR/MR)コンテンツアワード。5周年となる今年のテーマは「Create a Melting Reality」。溶け合うリアリティを創造せよ。



▼NEWVIEW AWARDS 2022 概要

<https://newview.design/awards/overview>

▼NEWVIEW AWARDS 2022 受賞作品

<https://newview.design/awards>

■主催：NEWVIEW PROJECT



## NEWVIEWについて

3次元空間での新たなクリエイティブ表現と体験のデザインを開拓する実験的プロジェクト/コミュニティとして2018年1月始動。多様なジャンルのアーティストと実験的作品を仕掛け、新たな表現を社会提示する活動のほか、「NEWVIEW AWARDS」、xRを総合芸術として学ぶアートスクール「NEWVIEW SCHOOL」を展開し、次世代クリエイターの発掘・育成・交流・発信を行っています。Web：<https://newview.design/>

